

第33回労働施設検討会議 議事要旨

1 と き 平成30年9月10日(月) 19:00～21:20

2 ところ 西成区役所 4階会議室

3 出席者

(有識者4名)

福原大阪市立大学大学院経済学研究科教授

寺川近畿大学建築学部建築学科准教授

ありむら釜ヶ崎のまち再生フォーラム事務局長

松村阪南大学国際観光学部教授

(行政機関17名)

大阪労働局 大久保会計課長補佐、宮田職業対策課長補佐、ほか2名

大阪府商工労働部雇用推進室労政課 佐藤副理事、中村課長補佐、ほか6名

西成区役所事業調整課 安間課長、室田課長代理、狩谷係長、ほか2名

(地域メンバー11名)

川村萩之茶屋第2町会長

田中萩之茶屋社会福祉協議会会長・萩之茶屋第5町会長

松繁釜ヶ崎資料センター

西口大阪国際ゲストハウス地域創出委員会委員長

山田NPO法人釜ヶ崎支援機構理事長

村井西成区商店会連盟会長

山田NPO法人サポータティブハウス連絡協議会代表理事

中島公益財団法人西成労働福祉センター業務執行理事

森下釜ヶ崎キリスト教協友会共同代表(代理)

泊全日本港湾労働組合関西地方本部建設支部西成分会代表(代理)

水野日本寄せ場学会運営委員

4 議 題

- ・本移転施設の規模及び配置の検討について

5 議事要旨

(1) 前回会議の振り返り

(2) 主な議事の概要

- ・本移転施設の規模及び配置について

- ・報告事項

駅前活性化検討会議議論の経過について

まちづくりビジョン2018～2022有識者提案について

エリアマネジメント協議会就労・福祉・健康専門部会の活動報告について

あいりん総合センターの解体撤去スケジュール案に係る意向把握状況について

仮移転施設建設工事について

(3) 今後の対応

《本移転施設の規模及び配置の検討について》

○本移転施設の規模について

- ⇒ 利用者数などの与条件の設定により大きく変動するため、現時点で一定の数字を示すのは難しい。
- ⇒ 利用者のマックス時のボリューム、待合や事務機能などを含めた面積のたたき台を出していく。

○本移転施設の配置について

- ⇒ 配置シミュレーションに当たっては、相対紹介、その他の業務機能、駅前活性化検討会議などの意見を含め、仮置きで複数のイメージ案を作成する。

《報告事項等について》

- ⇒ 駅前活性化検討会議では、ことさら施設を建てることなく、広場みたいな空間のまま、使い方を変えることによって価値を生み出し、労働施設との親和性、共存性を図っていくべきなどといった検討が行われている。
- ⇒ まちづくりビジョン2018～2022 有識者提案については、「子どもの声が聞こえる元気でやさしいまち再生を目指して」ということで、「まちの居場所づくり」の実践を通して「安心」と「にぎわい」が両立する「再チャレンジ」可能なまちづくりを推進することとし、6つの提言と5つのアクション、12+αの物語からなるもの。あいりん地域まちづくり会議でも示す。
- ⇒ エリアマネジメント協議会就労・福祉・健康専門部会については、7月12日から9月6日まで計5回開催し、野宿生活者に対する支援、労働と福祉のつながりの支援のあり方などを検討した。
- ⇒ 解体撤去スケジュール案に係る第8回あいりん地域まちづくり会議での委員意見を踏まえ、7月9日から13日までの間に実施したセンター周辺在住の委員聞き取り調査の結果、「騒音振動など住民の負担を考えたのか疑問」など、解体撤去に伴う住民生活への負担を考慮して欲しいといった意見であった。
- ⇒ 西成労働福祉センターの仮移転施設建設工事については、計画どおり進んでいる。また、あいりん労働公共職業安定所の仮移転施設建設工事については、9月2日から本格着工に向けた測量など事前準備を行っており、順調に進んでいる。

6 会議資料

配布資料

- 1 第32回労働施設検討会議議事概要（案）
- 2 労働施設仮移転整備関係平面図

参考資料

- 1 第32回労働施設検討会議議事要旨（案）
- 2 あいりん労働公共職業安定所仮移転施設建設工事について（ご挨拶）
- 3 「地域と市長への有識者提案」について
- 4 エリアマネジメント協議会「就労・福祉・健康専門部会」での検討状況について